

白根地区“梨（なし）”の品種リレー

白根地区（新潟市南区）の「梨」を紹介します。
本地区の梨の栽培は江戸時代から行われていたそうで、苗木を植えて2～3年で実はなりますが、成木となるには6～8年ほどかかるそうです。

梨の収穫は、早生品種の「幸水」を皮切りに「豊水」「あきづき」「新高」と収穫され、11月の「新興」で日本なしは終了しますが、その後に洋なしの「ルレクチエ」まで品種リレーが続きます。

集出荷施設「フルーツフラワーしろね」では、朝5時30分から持ち込まれる梨を選果作業員が1個ずつ傷や病気がないか丁寧に確認した後、品質センサーにより糖度、熟度、着色具合が検査され、等級、大きさごとに箱詰めされます。

箱詰めされた梨は県内の他、主に関東方面に出荷されますが、関西方面や北海道の各市場にも出荷されているそうです。

この広報誌が発行される頃は、「新興」の収穫も終わりの時期ですが、貯蔵性に優れた品種で2月まで楽しむことができますし、「ルレクチエ」は出荷の最盛期を迎える頃かと思えます。白根の梨は初夏から初冬まで楽しめますので、今年、間に合わなかった品種は、来年に是非試してみたいはいかがでしょうか。



収穫を待つ梨畑



出荷される梨



集出荷施設での選果作業

品 種	収 穫 時 期						特 徴
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
ハウス ^{こうすい} 幸水							人気品種「幸水」をハウス栽培しています。 ハウス内で育てられるため病害虫の心配が少なく、おいしさにはばらつきがありません。豊かな味わいですがすがしい香りが夏を告げるフルーツです。
幸 ^{こう} 水 ^{すい}							ややひらべったい形が特徴。 さくっとした歯ざわり、口に広がる豊かな甘さ。 酸味が少なく独特の香り高い風味があります。
ほう ^{ほう} 水 ^{すい} 豊							果肉は柔軟、多汁で 糖度13度前後と甘みもたっぷりです。 濃厚な味わいが魅力的な9月の梨です。
あきづき							果形は扁平形、果色は 黄赤褐色で外観が優れています。 果肉は軟らかく緻密で果汁が多く、 とても甘みの強い品種です。
にい ^{にい} たか ^{たか} 新 高							1個800グラムにもなる大玉の品種です。 ほぼ円形をしており、 糖度は13度近くに達する甘い梨です。 秋の食卓を芳香で包む香り高い梨です。
しん ^{しん} こう ^{こう} 新 興							新潟県園芸試験場で生まれた梨です。 肉質は柔軟多汁。糖度も13度前後と大変甘く、 さわやかな香気漂う梨です。 11月に収穫してから、2月末まで貯蔵できます。
ルレクチエ							フランス生まれの西洋なしです。 10月下旬に収穫し、ゆっくり追熟させたのち 12月上旬に出荷します。 滑らかな果肉、気品高い香りが特徴です。

（J A新潟みらい 吉田様、吉沢様には取材にご協力いただきありがとうございました。）